

さわらび

2020. 7. 6 No. 14 文責：大塚

こんな日々の1週間でした

6月29日（月）～7月3日（金）の藤岡中学校の様子を紹介します。

■6/29

「タバコの吸いがらの入っていたアルミ缶が混ざっていた日」です。関係者みんなで一瞬暗い気持ちになる1週間の始まりでした。アルミ缶回収へのご協力を感謝するとともに、ぜひ気をつけていただければと思います。

■6/30

1校時は道徳。この日は、『相馬野間追の季節』という教材を読んだ授業でした。これは本来2年生で使われる教材ですが、昨年度2、3年生合同で学んできたので昨年度取り上げていなかったことから、この日学習しました。

相馬野間追は、福島県南相馬市を中心とした相双地方で受け継がれてきた伝統行事です。東日本大震災後の開催に向けてかかわってきた人々の思いや葛藤を通して、郷土に受け継がれてきた伝統や文化を大切にすることなどを考えました。

【生徒の感想から】

藤岡にも昔から伝わる伝統的な祭りがあるので、今年はコロナウイルスの影響であるかは分からないけど、この先も続いていけるようにするにはどうすればよいかを考えるきっかけになった。

■7/1

ゲストを招いての集会スタート。第1回のゲストは、民生委員の尾崎明子さんでした。また、水曜日に授業に来てくれている天野教諭（大用中と兼務）も参加してくれました。



【尾崎明子さんから】

3人が自信を持って話せていることにうれしくなります。平和学習の感想も発表してくれたけど、今、広島でも語り部さんがどんどん少なくなっています。自分で広島（や長崎）に行く機会があったら、ぜひ行ってほしい。そこで感じることは、貴重な体験になると思います。

■7/1

はるかひまわりが、ぐんぐん高く成長しました。前日には激しい風雨もあり、私たち藤岡中の生徒・教職員だけでなく、来校される皆さんにとっても心配していただきました。

そして、7/1の朝、虎次君のおじいさんが竹屋敷地区の方々と一緒に来校してくれて、竹で支柱を立てて横に渡した竹と結んで補強してくれました。ありがとうございました。



■7/2

授業改善プランという取組の一環で、英語の授業を西部教育事務所の指導主事が参観して研修を行いました。参観される機会がいつあっても、3年生3人です。この日も、距離感を意識しながらも積極的に関わり合って学ぶ姿がありました。ALTのアレッサンドロ先生が1人1人にあてた手紙への返事を書く授業でしたが、短時間にたくさんの英文がつづられていきました。



■7/3

休校期間があったので、いろいろスタートが遅れましたが、総合学習での「藤岡マップ」も進んでいます。この日は、自分たちで調べてもわかりにくい部分について、詳しい人に聞く時間でした。神社関係と土地改良については景平俊之さん、良心市については景平耕二さんから、直接詳しいことを聞くことができました。



<お知らせ>

藤岡中では、休校期間の授業時数を回復するために、夏休みを7月21日～8月23日とします。また、これ以外に「冬休みの短縮」「土曜授業」「7時間目（11月から週2回）」を行います。